

平成 29 年度第 3 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 29 年 12 月 9 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 26 名中 19 名出席、ガイドヘルパー1名、
千葉市保健福祉局地域福祉課 1 名、
緑区地域振興課地域づくり支援室室長、
事務局 7 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 3 人、
社協緑区事務所 3 名）

【次 第】

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 第 3 期 緑区支え合いのまち推進計画の平成 29 年度進捗状況について
 - (2) 広報誌「みどりのきずな第 33 号」の承認について
- 3 報 告
 - 支え合いのまち千葉推進計画（第 4 期千葉市地域福祉計画）の原案について
【地域福祉課】
- 4 その他
- 5 閉 会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）第 3 期 緑区支え合いのまち推進計画の平成 29 年度進捗状況について

（岡本委員長） 第 3 期 緑区支え合いのまち推進計画は本年度で終了となる。まず、計画に対する今年度の進捗状況と、この 3 年間の問題・課題・成果等について地区ごとに話し合いを行っていただき、発表をしていただきたい。

※このあと、地区ごとに話し合いを行った。

（岡本委員長） それでは、誉田地区エリアから発表をお願いしたい。

(押元委員) 誉田地区エリアの誉田町2丁目町内会では、昨年度に見守り活動に関するアンケートを実施し、見守り希望者が9名、ボランティアが13名、名乗り出ている。その後、実際に見守りを希望した方のお宅に訪問し、話を伺ったが、意外と元気な方が多く、中には見守りが必要でないと思われる方等もあり、まだ活動には至っていないと聞いている。実際に見守りが必要な方はいるのだが、そういう方からの希望が出ていないというのが実情のようである。

また、見守り活動をするにあたってのボランティアの保険加入について、現在検討しているようであり、保険の手続きが済んでから活動していくのがいいのではないかと話になっているようである。

(岡本委員長) 続いて、おゆみ野地区エリアから発表をお願いしたい。

(中村輝委員) おゆみ野地区エリアでは、ふれあい散歩を重点項目にあげて、この1年間活動してきた。今年度もおおよそ3カ月に1回のペースで開催しており、来年の3月8日に第4回目（今年は9月が雨で中止になったので、実質は3回）を予定している。前回11月の実施の時は、参加者29名、スタッフ16名の総勢45名であった。5キロと2キロの2つのコースを作り、高齢者の閉じこもり防止等を目的に行っている。また、車いすを用意する等体の弱い方でも参加できるように工夫している。コースもその都度変え、個人ではなかなか体験の出来ないような場所も選定している。健康課やあんしんケアセンターの保健師の方にも同行をお願いし、万一の時に対応できる体制も整えている。なお、参加いただいた方には、またの参加や友人等を誘っての参加を呼び掛けている。おゆみ野地区のふれあい散歩については、まずまずの出来であったのではないかと思います。

なお、おゆみ野地区エリアでは、ふれあい散歩以外にも障がい者を対象としたイベント、高齢者向けのサロンやカフェ、子育てサロン等も行っている。

(岡本委員長) 続いて、椎名地区エリアから発表をお願いしたい。

(本田委員) まず、「地域と学校の交流」であるが、椎名小学校がとても協力的で、特に福祉体験の授業に力を入れている。福祉体験には、14連協、民児協、社協が共に支援を行っている。今年度は、車いす体験授業や義足着用のスポーツ選手との交流体験等を行った。

次に、「見守り活動の推進」であるが、他地区で見守り活動を実施している団体との交流会を実施し、お互いの活動について情報交換等も実施した。

この2つの項目については、来年度以降も推進していきたいと思っている。

(岡本委員長) 続いて、土気地区エリアから発表をお願いしたい。

(茂田委員) 土気地区エリアでは、見守り活動がひとつの大きなテーマになっている。その中で、各地区でのいきいきサロン活動の拡充とプラン作りということで取り組んできた。

いきいきサロンについては、拡充が進んでおり、参加者も増えており、比較的推進できたのではないかと思う。

見守り活動については、土気地区エリアでは2つの地域で活動が行われており、その成功例を他の地域に紹介する等をして、新たな取り組みを促す働きかけを行ってはいるが、今のところ新たな活動には至っていない。今後もこのような広報活動は行っていきいたいと思っている。

また、支え合い活動ということでは、イオン鎌取店による移動販売や大椎台の買物支援サービス等の新たな取り組みも行われており、今後はそういうものも含めた支え合い活動が必要になってくるのではないかと考えている。

(廣田委員) 自分は地域的には土気地区エリアに住んでいるが、千葉市身体障害者連合会という団体の代表としてこの会議に参加している。我々の団体は、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由者、内部障がい等を持っている方の連合団体として市内全体で活動している。障がいを持っている人たちの日常の発表や子どもたちとの交流等を柱にして活動をしている。今年度は、10月におゆみ野南小学校の5年生、11月には有吉小学校の3年生に、ガイドヘルプ講座や盲導犬を連れている方との接し方の体験等を行った。子どもたちは、新しいことが好きなので、一生懸命がんばってくれて我々としてもとても嬉しく思う。

また、9月3日に昭和の森で行われた九都県市合同防災訓練では、災害の時の障がいのある方との接し方を実践していただいた。来年度以降もこのようなコンセプトの基、活動をしていくと思うので、みなさんの地域に伺った際はよろしくお願ひしたい。

《報告》支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）の原案について

【地域福祉課】

(岡本委員長) 11月4日（土）に、第4期計画の市民説明会を実施され、27名の方が参加いただいた。活発な意見が出され、非常に充実した会であったと思われる。

このあとは、12月19日（火）からのパブリックコメントを経て、第4期計画が発足するという形になる。本日は、「支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）の原案について」地域福祉課から説明をいただく。

(黒木主査) 市民説明会においては、多くの方にご参加いただき、また活発な意見をいただきありがとうございました。今後は12月19日（火）から、パブリックコメントを予定しており、市民説明会でいただいた意見等を踏まえ

て見直しを行い、おおよそ240ページくらいの資料をまとめている。閲覧用の資料は、高齢障害支援課、区役所、図書館等に置かせていただく、またホームページでもご覧いただけるので、お目通しをいただけると幸いである。

※以降、資料12「支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）の原案について」の内容について説明。

(岡本委員長) 第4章の先駆的な取組事例では、緑区では先程も話しの出た大椎台の買物支援サービスが取り上げられている。

また、第7章にある【10の取組テーマ】については、前回よりもやや具体的な表現になっている。緑区においては、「6 防犯・防災に対する取り組み」、「7 担い手の拡大とボランティア活動の促進」という取り組みが十分手をつけられていないところではないかと思う。

次に第3期計画から第4期計画に向けて、継続的に取り組んでいきたいこと、また新たに取り入れていきたい取り組み等、第4期計画はこういう方向で進んでいきたいということを話し合ってください、報告してもらいたい。

※このあと、地区ごとに話し合いを行った。

(岡本委員長) 今、話し合っていたことが次の第4期計画で全てできるということではないと思うが、少しでも皆で作りに上げていく計画にしていければと思う。それでは、第4期に向けてどのように進めていくかということをお誉田地区から発表していただきたい。

(押元委員) あくまで個人的な希望になるが、誉田町2丁目町内会の見守り活動が少しずつでも充実していければと思う。特に、本当に見守りが必要な方こそ、手を上げていただけるよう、我々も協力していければと考えている。

また、誉田町1丁目町内会で立ち上がった有償ボランティアもあるので、あんしんケアセンターとしても何かいっしょに活動ができればいいと考えている。

今ある活動が着実に成長していけるよう、協力していけたらと考えている。

(岡本委員長) 続いて、おゆみ野地区エリアから発表をお願いしたい。

(中村輝委員) おゆみ野地区エリアでは、情報の共有に力を入れていきたいと考えている。また、おゆみ野地区はとても大きな地域なので、地域を3分割くらいに分けないとなかなか事が前に進まないのではないかという意見が出た。

現在、民児協が3分割されているので、そのくらいの規模で案件を解決していければと考えている。

(岡本委員長) 続いて、椎名地区エリアから発表をお願いしたい。

(小山委員) 椎名地区では、第4期も第3期と同じ内容で進めていこうと考えている。その中で、取組テーマにもあるしくみづくりというところで、町内会の加入促進をやっているという話しになった。自治会に入っていない世帯には、なかなか回覧板が届かないし、敬老会一つをとってもなかなか情報が届かないといった状況である。町内会に入っていない方でも参加できるようなイベント等を開催し、その活動を通じて自治会への加入促進をはかり、高齢者や子どもを支えるしくみづくりを作っていきたいという話しをした。

(岡本委員長) 続いて、土気地区エリアから発表をお願いしたい。

(茂田委員) 土気地区エリアでは、第3期の内容を第4期も更に進めていくという考えである。見守り活動については、見守りに必要な方をどのように把握していくかということが課題である。

また、あすみが丘のような新しい地域と北側の昔からの地域での意識の違いがかなりあるので、新しい方の関心をどのように高めていけばよいのかというのが課題である。

(岡本委員長) それでは、第3期の進捗状況と第4期に向けた意見等を交換していただいたが、全体的に意見があれば伺いたい。

先程、椎名地区から町内自治会への加入促進という話しが出たが、おゆみ野地区の自治会加入率はどれくらいか。

(中村輝委員) 47%くらいではないかと思う。

(岡本委員長) 土気地区はどのくらいか。

(野崎委員) 約67%である。

(岡本委員長) 自治会に加入していただかないと、地域活動も活発にならないということはあると思う。これについては、地域振興課を含めてがんばっていかなくてはならない大きな課題ではないかと思う。

次回の推進協の時には、第4期にはこういうことに取り組んでいきたいということも進行管理表に入れてまとめていきたいと思っているので、よろしくをお願いしたい。

(廣田委員) 先程、小学校に行って子どもたちと交流を図ったという話しをしたが、椎名やおゆみ野の学校からはよく声がかかるが、誉田や土気の学校からはあまり声がかからないので、学校関係に繋がりのある方がいれば、誉田地区や土気地区エリアの特に小学校に、連合会ではこんなことをやっているということをお伝えしていただくとありがたい。

議題（２）広報誌「みどりのきずな第３３号」の承認について

（岡本委員長） つづいて、広報誌「みどりのきずな第３３号」の承認に入らせていただく。

（中村和委員） 資料１１に「みどりのきずな第３３号」の案を添付している。なお、菅田地区からの原稿が間に合わなかったため、菅田地区については空欄になっている。その他の内容については、広報委員で校正を行っているので、この案で承認いただきたい。また、菅田地区の内容については、広報委員に一任していただきたい。

なお、「みどりのきずな第３３号」については、今月末までにまとめ上げ、２月の中旬くらいまでには、各地域に配布できると想定しているので、お願いしたい。

（岡本委員長） 内容については、承認いただけるか。

（全 員） 異議なし

（中村和委員） 「みどりのきずな第３３号」の内容について修正等あれば、１２月１８日（月）までに事務局に連絡いただきたい。

（岡本委員長） ありがとうございます。

※次回は３月１０日（土）１４：００～開催。

委員長が閉会を宣し、第３回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。

※終了後は広報委員が集まり、広報部会を実施